Fusyo Collaboration letter

2月2日　　No.42　　文責　廣田　秀俊

思いをつなぐ引継集会　～5・6年生チームの挑戦～

5・6年生によるチーム引継集会が行われました。めあては「これからにつながる引継にするために、この場にいる全員が思いを伝えられる集会にしよう」です。6年生は見守り、支える立場として、5年生はこれからの未来を担う志をもつ立場として集会に臨みました。

6 年生からは、「めあてを大事にして行動すること」「常に他学年のことを考える意識をもつこと」「自分たちがリーダーであることを自覚すること」が伝えられました。これまで最高学年として取り組んできた思いや姿勢を、ぜひ5年生にも受け継いでほしいという強い願いが込められていました。

集会では、グループごとに分かれて具体的な引継の話し合いが行われました。6年生の説明を受けながら、5年生は次々に質問をし、不安に感じていることも素直に伝えていました。掃除分担表を一緒に確認し、掃除ファイルの使い方や実際の掃除のやり方、掃除場所の確認など、細かい部分まで丁寧に引き継がれました。6年生からは経験談も語られ、「こんなときはどうするか」といったさまざまなケースを想定した具体的な行動案も示されました。「何があっても大丈夫という姿勢をもつこと」「時間に余裕をもって行動すること」「安心・安全をキーワードに行動すること」など、実践につながる大切なポイントが伝えられていました。

ふり返りの時間には、5年生から「疑問や不安をすべて答えてくれて安心した」「アドバイスをもらえたので伝統をつなげていきたい」「細かいところまで教えてもらえたので、頑張っていきたい」といった声が聞かれ、仲がより深まった有意義な時間となったことが伝わってきました。6年生からは「みんなで寄り添って話すことができた」「チーム遊びのことも掃除のことも伝えられたので、ぜひ頑張ってほしい」「明日から実行していってほしい」と、5年生への温かいエールが送られました。

そして翌日から、いよいよ5年生のリーダーとしての活動が始まりました。その姿からは、早速教えてもらったことを意識しながら取り組もうとする様子が見られました。他学年の掃除にも一生懸命取り組む姿があり、引継集会での学びが確かに生かされていることが感じられました。

思いを言葉にして伝え合い、具体的な行動へとつなげた今回の引継集会。6年生の願いと経験は、確実に5年生へと受け継がれています。これからの5年生の活躍がますます楽しみです。